

**留学先国名** : イギリス

**留学先学校名** : University for the Creative Arts

**留学期間** : 平成 27 年 6 月 19 日 ~ 平成 28 年 4 月 22 日

私はイギリスのファナムというところにアートを学びに行きました。環境も治安もよい地域だったので、安心して勉学、そしてアートに励むことができました。緑の多い街だったので、部屋の窓からはリスが走っているのがよく見えました。

初めの 10 週間はプレセッションコースといって本コースに入るまでの英語コースに入り、授業で使う基礎的な単語を学んだりしました。また、プレゼンテーションの練習などもしました。高校時代はそのようなことをする機会がなかった私にとって、それは大きな壁でした。しかし、練習を何度も重ねるにつれて、人前で英語を話すということに抵抗がなくなってきました。

私生活でもすべて英語でのコミュニケーションに変わりました。簡単なことだったら伝えたり聞き取れたりはそのもの、細かいことまでは伝えるのは初めのうちは難しかったです。それだけではなく、いきなりの寮生活には戸惑いました。なぜなら、料理も洗濯もしたことがなかったからです。学校が終わったあとは、スーパーに買い物に行き、料理をし、洗濯をするという学生兼主婦のような生活に 180 度変わりました。そういう生活を続けるようになり、母が当たり前のようにこなしてきた家事がこんなにも大変であることを改めて知る良い機会になりました。またこれから一人暮らしをするようになってこの経験があるので心強いです。

プレセッションコース（英語コース）が終わったあとは、International Foundation Arts and Design というコースに進みました。こちらは 14 人のイギリス人ではないインターナショナルの人たちで構成されていました。アジア圏からヨーロッパ圏までいろいろな国籍の方がいました。イギリスの教育制度でイギリス人ではない人たちが大学（BA）に進学したい場合、英語力、技術力に関係なくファウンデーションコースにいかなければならない制度だそうです。イギリス人の場合でもアートについての知識や技術力がない場合やもっと知識を深めたいという人はファウンデーションコースにいくとのことでした。

インターナショナルファウンデーションコースは BA コースとは違い、毎日（月～金）10 時から 5 時まで授業がありました。週末は休日なので、友人とロンドンまで出掛けたりしました。ロンドンまでは電車で一時間ほどの距離で、乗り換えもなくいけるので、美術館やギャラリーもすぐに行くことができたのはとても良かったです。ロンドンには栄えている街なので、新しいものや自分の知らなかった世界を見せてくれます。

ファウンデーションコースの授業内容は有名なアーティストの作品などのディスカッションやターンごとにあるプロジェクトについての説明でした。もちろんすべて英語の授業なので最初は、分からない単語が出てくるとメモを取るように心がけたりしました。プロジェクトは全部で 6 つほどあり、プロジェクトごとに作品を作って、そのことについてのリサーチをして進めていく、というものです。ファウンデーションコースには 1 つスタジオが設けられていて、9 時から 18 時まで自由に使うことができます。私の場合ほとんどの時間をスタジオで作品作りをして過ごしていました。スタジオが閉まったあとは、図書館で作品のリサーチや授業のまとめをしていました。最

初はどのようなことをしていいのか分からなかったことでも、リサーチをして段々とアイデアが浮かんできたりしました。それとは逆に初めからアイデアが固まっていた場合は、どのようにその過程に至ったのかをリサーチしました。今までは、先生から与えられた課題をこなしていくことしかしたことがなかったので、自分で一からどういものを作るのかを考え、そしてリサーチをして出来上がったものをみんなの前でプレゼンをするのは私にとって初めての挑戦だったので、新鮮であり緊張しました。なぜなら誰かに見せる作品は自分自身が作って満足するものではないからです。また、これらの過程は、自分で考えだしていくものなので、自習力を得ることができたと思います。この練習は将来、会社に入ってからとても役立つことになるでしょう。留学をするのは、私にとってとても大きな挑戦であり、自分を見直し、変えることができるいい機会になったと思います。だから、留学に行こうか迷っている方は是非行って挑戦して欲しいと思います。最初は不安で恐れることもあるかもしれませんが、チャンスが目前にあるのなら、自ら掴んで行って欲しいと思います。私は、一年間を通して、英語力だけではなく、生活力やコミュニケーション力、そして自習力が得ることができました。これらは、私にとって財宝であり、将来とても役立つと思います。また、日頃の学習意識の高さや、将来の人生設計などをしてみることも大切だと思います。留学をして、すべてが変わるわけではないかもしれませんが、私自身もう一度目標を再確認することができるいい機会でした。次はイギリスの大学に進んでいくので、より気を引き締め学習に取り組んでいきたいと思っています。